

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式／インデックス型
信託期間	無期限（2015年11月6日設定）
運用方針	JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所上場株式（上場予定株式を含みます。）に実質的な投資を行い、iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）に連動する投資成果をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。株式以外の資産への実質投資割合（信託財産に属する株式以外の資産の時価総額と信託財産に属するマザーファンド受益証券の時価総額にマザーファンドの信託財産の総額に占める株式以外の資産の時価総額の割合を乗じて得た額との合計額が信託財産の総額に占める割合）は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。
主要運用対象	ベビーファンド JAPAN クオリティ150インデックススマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定株式を含みます。）に直接投資することがあります。
	マザーファンド わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定株式を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド 株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	マザーファンド 株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

運用報告書（全体版）

eMAXIS JAPAN
クオリティ150インデックス

第10期（決算日：2025年1月27日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「eMAXIS JAPAN クオリティ150インデックス」は、去る1月27日に第10期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

eMAXIS専用サイト <https://emaxis.am.mufg.jp/>

本資料の表記にあたって

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額				i STOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス (配当込み)	株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税分	込配 み金	期騰 落率				
6期(2021年1月26日)	円 15,801	円 0	% 20.9		% 328.59	% 21.3	% 99.6	% 0.4
7期(2022年1月26日)	15,475	0	△ 2.1		322.52	△ 1.8	99.2	0.8
8期(2023年1月26日)	15,636	0	1.0		326.36	1.2	98.7	1.3
9期(2024年1月26日)	19,933	0	27.5		417.04	27.8	99.5	0.5
10期(2025年1月27日)	22,293	0	11.8		467.22	12.0	98.6	1.5

(注) i STOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）とは、東京証券取引所を主たる市場とする普通株式の中から時価総額、流動性によりスクリーニングされる投資ユニバースのうち、高ROEかつ、①財務健全性、②キャッシュフロー収益性、③利益安定性の3点に着目し、高ROEの継続性を評価して150銘柄を選定し算出される株価指數です。i STOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）は、三菱UFJ信託銀行が有するアクティブ運用機関としてのノウハウとSTOXXリミテッド（以下「STOXX社」）が有する指数提供機関としての経験を活用し、両社で共同開発したものです。2001年6月18日の時価総額を100として、STOXX社が算出・公表しています。STOXX社は、i STOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）及びそれに含まれるデータの発行元です。STOXX社は、報告された情報の作成に何ら関与するものではなく、かつ報告された情報、又はi STOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）若しくはそのデータに関するエラー、遺漏若しくは中断について、何ら保証するものではなく、(過失の有無を問わず)いかなる責任も負うものではありません。これらについては、正確性、妥当性、正当性、完全性、適時性及び目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。STOXX社に関係する情報の流布又は再配信は、一切禁止されています。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	i STOXX MUTB JAPAN クオリティ 150 インデックス		株組入比率	株式先物比率
		騰 落 率 (配当込み)	騰 落 率		
(期 首) 2024年1月26日	円 19,933	% —	% 417.04	% —	% 99.5
1月末	20,285	1.8	424.43	1.8	99.6
2月末	21,190	6.3	443.41	6.3	99.2
3月末	21,932	10.0	458.86	10.0	98.5
4月末	21,396	7.3	447.62	7.3	98.4
5月末	21,555	8.1	450.80	8.1	97.8
6月末	22,061	10.7	461.56	10.7	98.5
7月末	22,014	10.4	460.78	10.5	99.2
8月末	21,944	10.1	459.73	10.2	99.3
9月末	21,753	9.1	455.73	9.3	98.7
10月末	21,932	10.0	459.46	10.2	98.6
11月末	21,760	9.2	455.99	9.3	98.6
12月末	22,468	12.7	470.69	12.9	98.4
(期 末) 2025年1月27日	22,293	11.8	467.22	12.0	98.6
					1.5

(注) 謄落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第10期：2024年1月27日～2025年1月27日

〉当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第10期首	19,933円
第10期末	22,293円
既払分配金	0円
騰落率	11.8%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ11.8%の上昇となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（12.0%）を0.2%下回りました。

▶基準価額の主な変動要因**上昇要因**

ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行った結果、基準価額はベンチマークとほぼ同様の動きとなりました。

第10期：2024年1月27日～2025年1月27日

》投資環境について

► 国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

好調な企業業績や外国為替市場で円安・

米ドル高が進行したこと等を背景に、国内株式市況は上昇しました。

》当該投資信託のポートフォリオについて

► eMAXIS JAPAN クオリティ150インデックス

資産のほぼ全額をマザーファンドに投資したことにより、基準価額はマザーファンドとほぼ同様の推移となりました。

► JAPAN クオリティ150インデックススマザーファンド

資産のほぼ全額を株式（先物を含む）に投資しました。

株式ポートフォリオはベンチマークである iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）の個別銘柄構成比率に合わせて構築しました。

》当該投資信託のベンチマークとの差異について

► eMAXIS JAPAN クオリティ150 インデックス

ベンチマークとのカイ離は△0.2%程度となりました。

マザーファンド保有以外の要因

ファンドの管理コスト等による影響は△0.5%程度でした。

マザーファンド保有による要因

マザーファンド保有による影響は0.3%程度でした。

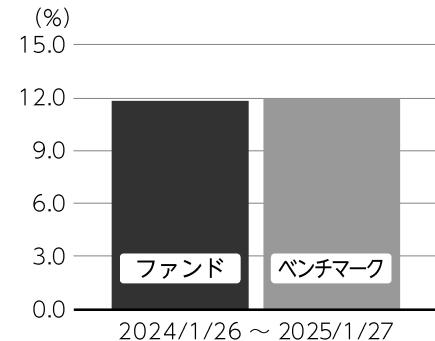
ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

主なプラス要因：その他の要因*によるものです。

*配当評価差異等が含まれます。

主なマイナス要因：取引要因によるものです。

基準価額（ベビーファンド）と ベンチマークの対比（騰落率）



▶分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかつた利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第10期 2024年1月27日～2025年1月27日
当期分配金（対基準価額比率）	- (-%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	12,292

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(作成対象期間末での見解です。)

► eMAXIS JAPAN クオリティ150インデックス
マザーファンドの組入比率を高位に維持する方針です。

► JAPAN クオリティ150インデックススマザーファンド
ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

2024年1月27日～2025年1月27日

› 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信託報酬	95	0.441	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(42)	(0.193)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(42)	(0.193)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(12)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	0	0.001	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株式)	(0)	(0.000)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(c)その他費用	1	0.003	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	96	0.445	

期中の平均基準価額は、21,605円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

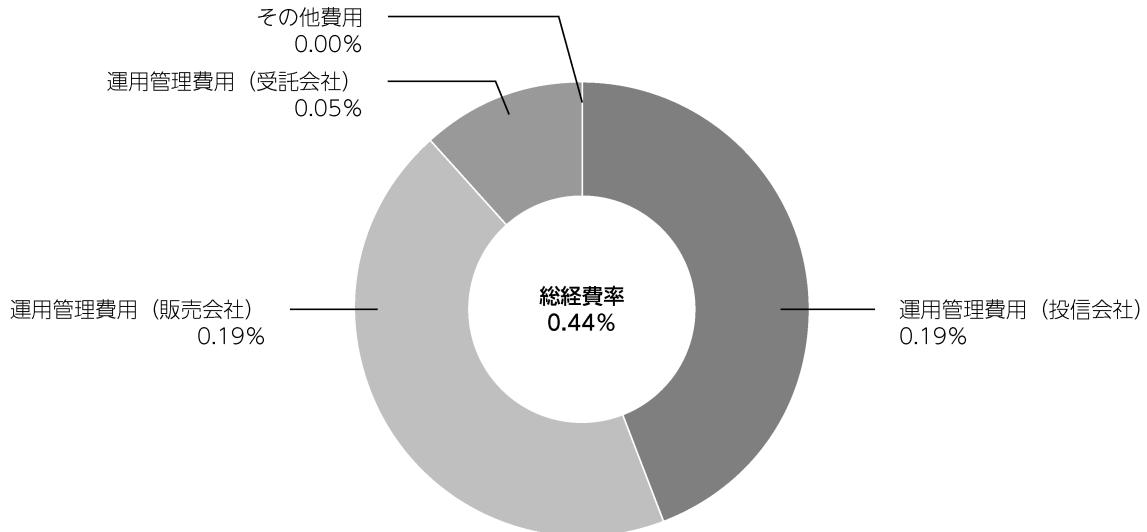
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.44%**です。



- (注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年1月27日～2025年1月27日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド	千口 271,752	千円 596,903	千口 226,344	千円 518,583

○株式売買比率

(2024年1月27日～2025年1月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	6,938,561千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,305,732千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.61

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年1月27日～2025年1月27日)

利害関係人との取引状況

<e MAXIS JAPAN クオリティ150インデックス>

該当事項はございません。

<JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
株式	2,492	187	7.5	4,445	1,974	44.4

平均保有割合 60.6%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

< JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド >

種類	買付額
	百万円
株式	2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2025年1月27日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド	千口 1,082,318	千口 1,127,727	千円 2,618,132

○投資信託財産の構成

(2025年1月27日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド	千円 2,618,132	% 99.5
コール・ローン等、その他	14,197	0.5
投資信託財産総額	2,632,329	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年1月27日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	2,632,329,932
JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド(評価額)	7,121,973
未収入金	2,618,132,226
未収利息	7,075,643
(B) 負債	90
未払解約金	13,937,357
未払信託報酬	7,908,745
その他未払費用	5,989,739
(C) 純資産総額(A-B)	38,873
元本	2,618,392,575
次期繰越損益金	1,174,549,729
(D) 受益権総口数	1,174,549,729口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,293円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,122,262,907円
 期中追加設定元本額 480,898,806円
 期中一部解約元本額 428,611,984円
 また、1口当たり純資産額は、期末2,2293円です。

②分配金の計算過程

項目	目	2024年1月27日～ 2025年1月27日
費用控除後の配当等収益額		47,636,363円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額		176,374,463円
収益調整金額		935,456,914円
分配準備積立金額		284,375,106円
当ファンドの分配対象収益額		1,443,842,846円
1万口当たり収益分配対象額		12,292円
1万口当たり分配金額		－円
収益分配金金額		－円

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

[お知らせ]

東京証券取引所の取引時間の延伸に伴い、申込締切時間の変更を行いました。詳細は、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) から当該ファンドページの目論見書をご覧ください。
 (2024年11月5日)

○損益の状況 (2024年1月27日～2025年1月27日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円 7,579
受取利息	7,614
支払利息	△ 35
(B) 有価証券売買損益	235,593,564
売買益	301,743,379
売買損	△ 66,149,815
(C) 信託報酬等	△ 11,590,317
(D) 当期損益金(A+B+C)	224,010,826
(E) 前期繰越損益金	284,375,106
(F) 追加信託差損益金	935,456,914
(配当等相当額)	(705,980,651)
(売買損益相当額)	(229,476,263)
(G) 計(D+E+F)	1,443,842,846
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,443,842,846
追加信託差損益金	935,456,914
(配当等相当額)	(707,404,946)
(売買損益相当額)	(228,051,968)
分配準備積立金	508,385,932

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド

《第10期》決算日2025年1月27日

[計算期間：2024年1月27日～2025年1月27日]

「JAPAN クオリティ150インデックスマザーファンド」は、1月27日に第10期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてわが国の金融商品取引所上場株式（上場予定株式を含みます。）に投資を行い、iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）に連動する投資成果をめざして運用を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。
主要運用対象	わが国の金融商品取引所上場株式（上場予定株式を含みます。）を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス (配当込み)		株組入比率	株先物比率	純資産額
		期騰落率	中率			
6期(2021年1月26日)	円 16,166	% 21.4	328.59	% 21.3	% 99.6	% 0.4 百万円 4,814
7期(2022年1月26日)	15,903	△ 1.6	322.52	△ 1.8	99.2	0.8 5,018
8期(2023年1月26日)	16,140	1.5	326.36	1.2	98.7	1.3 4,569
9期(2024年1月26日)	20,667	28.0	417.04	27.8	99.5	0.5 5,116
10期(2025年1月27日)	23,216	12.3	467.22	12.0	98.6	1.5 3,650

(注) iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）とは、東京証券取引所を主たる市場とする普通株式等の中から時価総額、流動性によりスクリーニングされる投資ユニバースのうち、高ROEかつ、①財務健全性、②キャッシュフロー収益性、③利益安定性の3点に着目し、高ROEの継続性を評価して150銘柄を選定し算出される株価指数です。iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）は、三菱UFJ信託銀行が有するアクティブ運用機関としてのノウハウとSTOXXリミテッド（以下「STOXX社」）が有する指數提供機関としての経験を活用し、両社で共同開発したものです。2001年6月18日の時価総額を100として、STOXX社が算出・公表しています。STOXX社は、iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）及びそれに含まれるデータの発行元です。STOXX社は、報告された情報の作成に何ら関与するものではなく、かつ報告された情報、又はiSTOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス（配当込み）若しくはそのデータに関するエラー、遺漏若しくは中断について、何ら保証するものではなく、(過失の有無を問わず)いかなる責任も負うものではありません。これらについては、正確性、妥当性、正当性、完全性、適時性及び目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。STOXX社に関係する情報の流布又は再配信は、一切禁止されています。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	i STOXX MUTB JAPAN クオリティ150インデックス		株組入比率	株式先物比率
		騰 落 率	(配当込み) 騰 落 率		
(期首) 2024年1月26日	円 20,667	% —	417.04	% —	% 99.5
1月末	21,033	1.8	424.43	1.8	99.6
2月末	21,979	6.3	443.41	6.3	99.2
3月末	22,757	10.1	458.86	10.0	98.5
4月末	22,209	7.5	447.62	7.3	98.4
5月末	22,382	8.3	450.80	8.1	97.8
6月末	22,916	10.9	461.56	10.7	98.5
7月末	22,876	10.7	460.78	10.5	99.2
8月末	22,811	10.4	459.73	10.2	99.3
9月末	22,621	9.5	455.73	9.3	98.7
10月末	22,816	10.4	459.46	10.2	98.6
11月末	22,645	9.6	455.99	9.3	98.6
12月末	23,391	13.2	470.69	12.9	98.4
(期末) 2025年1月27日	23,216	12.3	467.22	12.0	98.6
					1.5

(注) 謄落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

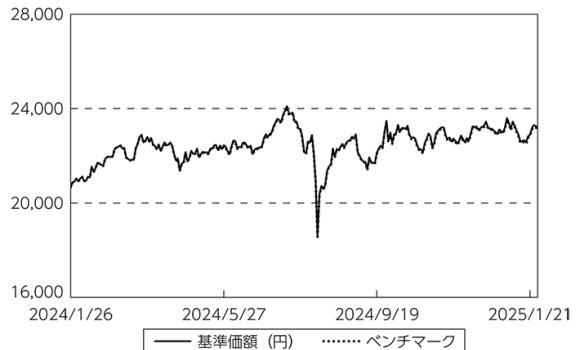
◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ12.3%の上昇となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの謄落率は、ベンチマークの謄落率(12.0%)を0.3%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同じになるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行った結果、基準価額はベンチマークとほぼ同様の動きとなりました。

●投資環境について

◎国内株式市況

- ・国内株式市況は上昇しました。
- ・好調な企業業績や外国為替市場で円安・米ドル高が進行したこと等を背景に、国内株式市況は上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・資産のほぼ全額を株式（先物を含む）に投資しました。
- ・株式ポートフォリオはベンチマークである iSTOXX MUTB JAPAN クオリティ 150 インデックス（配当込み）の個別銘柄構成比率に合わせて構築しました。

●当該投資信託のベンチマークとの差異について
ベンチマークは12.0%の上昇になったため、カイ離は0.3%程度となりました。

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・その他の要因※によるものです。
※配当評価差異等が含まれます。

(主なマイナス要因)

- ・取引要因によるものです。

○今後の運用方針

- ・ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年1月27日～2025年1月27日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 （株式） (先物・オプション)	円 0 (0) (0)	% 0.001 (0.000) (0.001)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
合計	0	0.001	
期中の平均基準価額は、22,450円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○ 売買及び取引の状況

(2024年1月27日～2025年1月27日)

株式

国内	上場	買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
		千株 1,201 (333)	千円 2,492,850 (-)	千株 1,467	千円 4,445,710

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

国内	種類別	買建		売建	
		新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
	株式先物取引	百万円 650	百万円 633	百万円 27	百万円 27

○株式売買比率

(2024年1月27日～2025年1月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	6,938,561千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,305,732千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.61

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年1月27日～2025年1月27日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 2,492	百万円 187	7.5	百万円 4,445	百万円 1,974	44.4

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種類	買付額
株式	百万円 2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2025年1月27日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当期末		
		株数	株数	評価額
鉱業（-%）		千株	千株	千円
I N P E X	26.3	—	—	—
建設業（0.3%）				
ショーボンドホールディングス	1.2	—	—	—
関電工	—	1.9	4,480	—
九電工	1.4	—	—	—
高砂熱学工業	—	1.1	6,476	—
食料品（5.5%）				
カルビー	2.1	1.4	4,155	—
森永乳業	2.4	—	—	—
ヤクルト本社	8.2	—	—	—
明治ホールディングス	7.3	—	—	—
キッコーマン	5.1	16.7	27,429	—
味の素	—	8.9	56,194	—
ニチレイ	3.5	2.2	8,745	—
東洋水産	2.7	1.7	17,331	—
日清食品ホールディングス	6.6	4.2	14,981	—
日本たばこ産業	25.1	17.3	68,369	—
繊維製品（0.2%）				
ゴールドウイン	1.1	0.7	5,672	—
デサント	1.2	—	—	—
化学（5.1%）				
日産化学	2.7	2.4	11,431	—
信越化学工業	19.1	13.4	68,996	—
日本酸素ホールディングス	5.6	3.7	16,002	—
東京応化工業	—	2.2	8,133	—
アイカ工業	—	1.1	3,602	—
日油	2.1	4.2	8,862	—
関西ペイント	6.3	—	—	—
ファンケル	2.1	—	—	—
小林製薬	1.7	—	—	—
デクセリアルズ	1.5	3	6,210	—
日東電工	2.7	12.2	34,404	—
ニフコ	2.4	—	—	—

銘柄	期首(前期末)	当期末		
		株数	株数	評価額
ユニー・チャーム	12.3	22.3	27,473	—
医薬品（6.0%）				
協和キリソ	—	4.1	9,528	—
塩野義製薬	8.1	15.4	35,535	—
日本新薬	1.9	1.2	4,554	—
中外製薬	17.6	10.8	69,897	—
ロート製薬	6.2	4.1	10,955	—
小野薬品工業	12.5	8.1	13,134	—
第一三共	—	16.4	71,963	—
ゴム製品（0.1%）				
TO YO T I R E	3.2	2.1	5,271	—
ブリヂストン	15.6	—	—	—
ガラス・土石製品（0.9%）				
日本特殊陶業	5.4	3.4	17,017	—
MARUWA	0.2	0.2	9,066	—
ニチアス	—	1.1	5,628	—
鉄鋼（0.2%）				
大和工業	1.3	0.8	5,897	—
非鉄金属（1.0%）				
三井金属鉱業	—	1	4,740	—
フジクラ	—	4.8	31,305	—
金属製品（0.7%）				
SUMCO	9.2	—	—	—
三和ホールディングス	6.1	3.9	18,010	—
日本発條	—	3.5	7,082	—
機械（9.1%）				
三浦工業	2.9	1.9	7,214	—
ディスク	2.4	1.7	79,186	—
SMC	1.3	—	—	—
小松製作所	—	16.4	74,144	—
ローワー	—	2	3,464	—
荏原製作所	2.4	8	21,224	—
ダイキン工業	—	4	76,320	—
オルガノ	—	0.4	3,220	—

銘柄	期首(前期末)	当期末		銘柄	期首(前期末)	当期末	
		株数	評価額			株数	評価額
	千株	千株	千円		千株	千株	千円
栗田工業	—	2	10,976	精密機器 (4.6%)			
ダイフク	10	6.6	21,153	島津製作所	7.8	5.1	22,720
フジテック	—	1.3	7,495	東京精密	—	0.7	5,275
SANKYO	1.1	3.8	7,999	マニー	2.3	1.5	2,228
竹内製作所	1.1	0.7	3,745	オリンパス	—	20.3	48,050
セガサミーホールディングス	4.5	—	—	H O Y A	5.8	3.6	77,022
ホシザキ	—	2.1	12,087	朝日インテック	6.6	4.3	11,341
電気機器 (20.5%)				その他製品 (4.8%)			
日立製作所	9.5	18	69,840	バンダイナムコホールディングス	17.6	11.4	42,225
富士電機	3.9	2.6	20,701	タカラトミー	—	1.5	6,430
ソシオネクスト	—	3.1	8,011	アシックス	—	12.4	44,032
J V C ケンウッド	—	2.6	4,583	ビジョン	3.2	—	—
富士通	4.5	25.4	71,259	任天堂	14	8	78,344
ルネサスエレクトロニクス	39.2	32.3	68,427	美津濃	—	0.4	3,428
パナソニック ホールディングス	64.7	—	—	電気・ガス業 (-%)			
ソニーグループ	7.4	21	68,481	東京瓦斯	11.5	—	—
T D K	—	24.8	47,355	大阪瓦斯	11	—	—
横河電機	7.1	4.6	15,741	陸運業 (-%)			
アズビル	3.5	9.1	10,792	S G ホールディングス	12.8	—	—
堀場製作所	1.1	—	—	情報・通信業 (13.5%)			
アドバンテスト	13.7	8.2	75,317	N E C ネッツエスアイ	—	0.7	2,338
キーエンス	1.6	1.1	75,064	日鉄ソリューションズ	0.9	1.2	4,605
シスメックス	4.6	9	27,081	T I S	6.4	4.1	13,825
日本マイクロニクス	—	0.6	2,373	コーエーテクモホールディングス	3.7	2	3,735
日本電子	—	0.9	5,229	ネクソン	9.3	—	—
ファナック	23.6	—	—	S H I F T	0.3	3	3,850
浜松ホトニクス	3.9	—	—	ガンホー・オンライン・エンターテイメント	1.3	—	—
三井ハイテック	0.7	—	—	G M O ペイメントゲートウェイ	—	0.8	6,405
新光電気工業	1.8	—	—	インターネットイニシアティブ	3.8	2.6	7,442
村田製作所	33.7	—	—	ラクス	2.9	—	—
S C R E E N ホールディングス	2.5	1.8	19,260	ビジョナル	—	0.4	3,072
キヤノン	—	14.4	71,496	野村総合研究所	13.2	8	38,168
東京エレクトロン	4.3	3	77,415	オービック	1.9	6.1	27,675
輸送用機器 (2.5%)				トレンドマイクロ	—	2.3	20,571
いすゞ自動車	16.4	—	—	日本オラクル	0.9	0.6	8,745
スズキ	12.9	33.9	63,376	オービックビジネスコンサルタント	—	0.6	4,570
S U B A R U	16.2	10	27,015	大塚商会	3.3	4.4	15,114
シマノ	2.2	—	—	東映アニメーション	0.3	1.4	4,977
				ネットワンシステムズ	2.2	0.3	1,344

銘柄	期首(前期末)	当期末		
		株数	株数	評価額
	千株	千株	千円	
B I PROGY	2.1	1.4	6,368	
日本電信電話	556.3	467.1	71,466	
K D D I	20.8	14.5	73,993	
ソフトバンク	—	361.8	72,179	
光通信	0.6	0.4	14,148	
東宝	—	2.3	15,437	
カブコン	4.9	6.5	21,840	
S C S K	4.1	2.7	8,834	
富士ソフト	—	0.6	5,874	
N S D	1.9	1.2	3,850	
コナミグループ	2.7	1.8	24,885	
卸売業 (4.79%)				
神戸物産	3.9	2.6	8,996	
アズワン	0.8	1.1	2,812	
伊藤忠商事	16.5	9.3	66,290	
兼松	—	1.5	3,860	
三井物産	18.4	22.2	68,043	
岩谷産業	1.4	3.8	6,480	
サンリオ	1.8	—	—	
ミスミグループ本社	7.5	4.9	11,191	
小売業 (6.69%)				
エービーシー・マート	2.6	1.7	5,404	
日本マクドナルドホールディングス	2.3	1.5	8,685	
M o n o t a R O	6.6	4.3	10,642	
マツキヨコカラ&カンパニー	10.7	7.2	16,704	
Z O O Z O	4.2	2.5	12,377	
物語コーポレーション	1	0.7	2,362	
ウエルシアホールディングス	2.7	—	—	
コスマス薬品	0.7	0.9	6,579	
クスリのアオキホールディングス	1.8	—	—	
良品計画	—	4.6	18,216	
パン・パシフィック・インターナショナルホ	10.4	6.9	28,421	
ゼンショーホールディングス	2.7	1.7	14,643	
ワークマン	0.7	—	—	
スギホールディングス	1.1	2.1	5,523	
日本瓦斯	3	1.9	4,132	
ヤオコー	0.7	0.5	4,510	
ニトリホールディングス	2.5	1.6	29,184	
ファーストリテイリング	2.7	1.3	65,000	

銘柄	期首(前期末)	当期末		
		株数	株数	評価額
	千株	千株	千円	
サンドラッグ	2	1.3	5,447	
銀行業 (-%)				
セブン銀行	19.1	—	—	
証券、商品先物取引業 (0.1%)				
マネックスグループ	—	3.1	2,790	
保険業 (5.8%)				
S O M P O ホールディングス	9.2	17.1	73,307	
MS & AD インシュアラנסグループホール	12.7	21.1	68,216	
東京海上ホールディングス	25.4	12.7	66,154	
その他金融業 (2.8%)				
全国保証	1.8	1.2	6,531	
オリックス	—	19.6	64,758	
日本取引所グループ	13.9	18	30,618	
不動産業 (1.2%)				
大東建託	1.7	1.1	18,579	
ヒューリック	18.1	11.9	16,660	
野村不動産ホールディングス	3.1	—	—	
オーブンハウスグループ	2.2	1.4	7,159	
住友不動産	12.5	—	—	
サービス業 (3.8%)				
日本M&Aセンターホールディングス	8.3	5.1	3,503	
エス・エム・エス	1.9	—	—	
バーソルホールディングス	50.4	32.1	7,415	
カカクコム	3.3	2.1	4,996	
ディップ	0.9	—	—	
エムスリー	11.8	7.7	11,076	
オリエンタルランド	18.5	—	—	
ユー・エス・エス	6.3	8.3	11,437	
テクノプロ・ホールディングス	2.8	1.8	5,529	
ジャパンマテリアル	1.9	—	—	
リクルートホールディングス	18.1	6.2	66,991	
ペイカレント	—	2.4	15,007	
ジャパンエレベーター・サービスホールディン	1.7	1.2	3,550	
セコム	5.6	—	—	
メイテックグループホールディングス	—	1.3	3,797	
ダイセキ	1.3	0.8	2,888	
合 計	株数・金額	1,642	1,709	3,598,480
	銘柄数<比率>	150	150	<98.6%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の()内は、純資産総額に対する評価額の比率。

先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄 別			当 期 末	
			買 建 額	売 建 額
国 内	株式先物取引	T O P I X	百万円 55	百万円 —

○投資信託財産の構成

(2025年1月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 3,598,480	% 98.4
コール・ローン等、その他	59,606	1.6
投資信託財産総額	3,658,086	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年1月27日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コレル・ローン等	3,658,086,501
株式(評価額)	42,681,062
未収入金	3,598,480,140
未収配当金	7,179,996
未収利息	6,701,600
差入委託証拠金	540
(B) 負債	3,043,163
未払金	7,226,743
未払解約金	151,100
(C) 純資産総額(A-B)	7,075,643
元本	3,650,859,758
次期繰越損益金	1,572,579,554
(D) 受益権総口数	2,078,280,204
1万口当たり基準価額(C/D)	1,572,579,554口
	23,216円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,475,730,635円
 期中追加設定元本額 337,378,994円
 期中一部解約元本額 1,240,530,075円
 また、1口当たり純資産額は、期末2,3216円です。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

- | | |
|--|----------------|
| e MAX I S J A P A N クオリティ 150 インデックス | 1,127,727,527円 |
| MUKAM スマート・クオリティ・セレクション (適格機関投資家転売制限付) | 244,405,562円 |
| MUKAM スマート・クオリティ・セレクション2 (適格機関投資家限定) | 200,446,465円 |
| 合計 | 1,572,579,554円 |

○損益の状況 (2024年1月27日～2025年1月27日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取配当金	87,813,151
受取利息	87,752,386
その他収益金	60,704
支払利息	223
(B) 有価証券売買損益	△ 162
売買益	462,186,613
売買損	804,289,918
(C) 先物取引等取引損益	△ 342,103,305
取引益	12,795,050
取引損	16,878,550
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 4,083,500
(E) 前期繰越損益金	562,794,814
(F) 追加信託差損益金	2,640,788,708
(G) 解約差損益金	400,864,286
(H) 計(D+E+F+G)	△1,526,167,604
次期繰越損益金(H)	2,078,280,204
	2,078,280,204

(注) (B) 有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。